

維持管理の意義深め議論

コンクリート診断士

役割考

フォーラム開く

公益社団法人日本コンクリート工業会中部支部主催の「コンクリート診

断士のこれからの役割を考えるフォーラム」イン福井は25日、福井市大手

重要性など講演と討論を通して考えた。

北陸3県のコンクリー

ト診断士会共催による連携推進事業の一環。

まず福井県コンクリー

ト診断士会の石川裕夏会長があいさつし、ことし8月の金沢開催に続く同種フォーラムで診断士会が掲げる2大テーマの技術向上、および維持管理

と診断士の重要性で、今回は後者に主眼を置き開催するに至った特長を紹介。基調講演は鳥居和之金大教授が務め福井県におけるコンクリート構造物の維持管理の現状と課題を指摘し、このほか橋梁の予防保全や長寿命化など診断士との関わり方が様々に示され、参加者は熱心に聴いた。



行政土木担当者など約180人が熱心に受講＝25日、県協ビル

3丁目の福井県協ビルで開催され、士会メンバーをはじめ行政土木担当者や大木、ゼネコン、コンサル関係者ら合計約180人が参加し、維持管理の意義から診断士の社会的役割の